

施工の手順や方法を変えて ICT 施工に取り組む！



施工可能な方法を思索 ICT 施工に挑戦！

■■ 現場詳細 ■■

静岡県伊豆市 令和元年度一級河川大見川総合流域防災工事（河床掘削工その2）
災害に備え、川底に堆積した土砂を取り除く。

【施工範囲】現場面積 5,000m²
土量 2,500m³

【ソリューション】3D測量
スマートコンストラクションアプリ

■■ 導入経緯 ■■

(株)イズケン
土木部工事主任 浅見幸男さん
今回の現場は、石がゴロゴロと多くあり、石の高さが定まっていない為、当初は、ICT 建機のセミオート制御が邪魔をしてしまい ICT 施工では厳しいかと思っておりましたが、スマートコンストラクションの担当者に相談をし、従来と施工方法や手順を変えながら、ICT 建機を活用して、ICT 施工に挑戦してみることになりました。



土木部工事主任 浅見幸男さん

静岡県 (株)イズケン 様

昭和36年 設立
会社設立以来地元に着目した
土木建築請負、
公安庁工事を始め、民間工事を請負い
現在にいたっております。
地域の建設業者としての、
お客様の信頼・安心・納得を
営業方針として、お客様に満足され、
地域にとって必要とされる
企業を目指します。

掲載月:2020年6月

想定以上の仕上がり 社員全員が大満足！

■■ 導入効果 ■■

(株)イズケン
土木部工事主任 浅見幸男さん
現場着工前に台風がきてしまい、細かい土砂が流されてしまいました。試掘の際、現場には大きな石ばかりが残り、どうなるのか不安がありましたが、とりあえずやってみよう！と ICT 施工を開始しました。従来と施工手順を変更し、先に大きな石を除去してから ICT 建機の仕上げ施工としました。仕上がりは想定以上に綺麗で、手軽さも実感することができたので、ICT 施工で行ったことは正解だったと思います。ICT 建機のマシンコントロール機能により、丁張りが不要のため、手元作業員も不要となり、監督の手間も削減できました。当初、従来建機と ICT 建機の2台体制で同時に進めて行こうと思いましたが、施工が始まると、ICT 建機の使い勝手が良く、ほとんど ICT 建機で施工を行いました。今後は ICT 建機だけで充分かなえると感じます。楽に綺麗に仕上げられる ICT 施工を経験し、大変嬉しかったので、次回も取り組んでいきたいです。

